

2024年8月8日

2024年度（第11回）大会シンポジウム開催案内（第1報）

1. 日時：2024年10月25日（金）10:00～19:00
2. 会場：ハイブリッド開催
（東京農業大学世田谷キャンパス横井講堂＋Zoomによるオンライン）
3. 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会 3 研究部会
（労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会）
4. 後援団体：JA 全国組織、JA 単協等
5. プログラム：
10:00～11:00 個別報告
11:00～11:40 第4回学会賞表彰式
13:00～17:15 シンポジウム（詳細は後述参照）
17:30～19:00 交流会（レストランすずしろ）
6. 参加申込方法：2024年9月上旬に改めてご案内いたします。

<シンポジウム>

テーマ

農作業事故防止技術・方策の社会実装へのチャレンジ

シンポジウム趣旨

農作業事故防止に関わる現在の政策の体系、農作業事故防止技術の開発現状とその具体的な社会実装の現状を知るとともに、そうした政策や技術を現場の農家に普及して事故ゼロを目指す活動を実践している関係者の取り組みを紹介する。また、そうした事故ゼロを目指す活動の更なる効果的な展開方向について、意見交換を行う。

挨拶 13:00～13:10

学会長、東京農業大学長

基調講演1 13:15～13:45（30分）

事故ゼロを目指す農作業安全対策の総合的展開（仮題）

土佐 竜一（農林水産省 農産局技術普及課生産資材対策室長）

*農水省による事故ゼロを目指す政策の体系的な整備状況とその効果、さらには今後の農作業安全対策の今後の展開方向について紹介してもらう。

基調講演2 13:45～14:15（30分）

事故ゼロを目指すスマート農作業安全システムの開発と社会実装（仮題）

富田 宗樹（農業・食品産業技術総合研究機構 農業機械研究部門
システム安全工学研究領域長）

*VRを活用した農作業安全啓発システム、トラクタ安全フレーム開発、トラクタの危険挙動の検知システム、遠隔監視ロボット開発、農作業用アシストスーツなどの開発現状と社会実装の取り組みを紹介してもらう。

休憩 14:15～14:25

講演 1 14:25～14:45 (20分)

農作業事故原因と労働安全衛生管理の考え方 (仮題)

氣多 正 (一般社団法人日本農業機械化協会)

講演 2 14:45～15:05 (20分)

事故事例・事故防止 14のキーワード

齊藤 総幸 (一般社団法人 全国農業改良普及支援協会 普及参事兼情報部長)

講演 3 15:05～15:25 (20分)

共済金支払データに基づく農作業事故の発生状況の分析と事故防止対策 (仮題)

和泉 崇之 (JA共済連 全国本部 農業・地域活動支援部次長(兼)地域貢献運営G課長)

講演 4 15:25～15:45 (20分)

社労士による事故防止のための労災保険の加入促進と課題、関係機関との連携の在り方 (仮題)

福田 哲夫 (福田社会保険労務士事務所 所長)

休憩 15:45～15:55

コメント(15:55～16:25 各人10分)

井関農機株式会社移植技術部Aチーム

岡田 卓也

株式会社日本農業新聞論説委員室論説委員長

鈴木 祐子

JA全中 営農・担い手支援部営農企画課考査役

石澤 哲

総合討議 16:25～17:15 (50分)

司会：門間 敏幸

安江 紘幸

以上